



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社Sharing Innovations 上場取引所 東
 コード番号 4178 URL https://sharing-innovations.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 啓之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0コーポレート マネジメント部門長 (氏名) 小川 恭平 TEL 03 (6456) 2451
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,297	20.0	271	62.2	275	62.8	181	89.2
2020年12月期第3四半期	2,748	—	167	—	168	—	95	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 180百万円 (88.1%) 2020年12月期第3四半期 96百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	48.75	43.73
2020年12月期第3四半期	26.21	—

(注) 2021年3月24日東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当四半期累計期間までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,969	1,431	72.6
2020年12月期	1,575	1,043	66.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,430百万円 2020年12月期 1,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,413	16.7	424	55.0	427	55.1	277	57.1	74.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	3,773,300株	2020年12月期	3,660,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	ー株	2020年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	3,722,001株	2020年12月期3Q	3,660,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの「将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、国からの非常事態宣言による不要不急の外出自粛や各種事業に対する営業活動の自粛要請の影響もあり先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であるデジタルトランスフォーメーション事業を取り巻く環境といたしましては、IT人材不足が今後ますます深刻化し、2030年には約45万人程度までIT人材の不足規模が拡大するとの推計結果が出ております。(出所:経済産業省委託事業「IT人材需給に関する調査」)

また、デジタルトランスフォーメーション(DX)のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的にクラウドファースト戦略を実行する企業が増える他、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行によって、「テレワークの導入」「デジタルビジネスの強化」などの喫緊の業務課題を解決するためにパブリッククラウドサービスを活用する企業も増加しております。2021年の国内パブリッククラウドサービス市場規模は前年比20.3%増の1兆5,087億円となると見込まれており、また、2020年~2025年の年間平均成長率は18.4%で推移して、2025年の市場規模は2020年比2.3倍の2兆9,134億円になると予測されております。(出所:IDCJapan株式会社「国内パブリッククラウドサービス市場 産業分野別予測、2021年~2025年」)

このような環境のもと、当社グループのデジタルトランスフォーメーション事業においては人材確保とIT技術の教育により、開発体制強化に努めてまいりました。また、プラットフォーム事業においては新規ユーザー獲得のためのプロモーション施策を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,297,064千円(前年同期比20.0%増)、営業利益271,513千円(前年同期比62.2%増)、経常利益275,072千円(前年同期比62.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益181,455千円(前年同期比89.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①デジタルトランスフォーメーション事業

当事業においては、事業開始からM&Aを推進し、同時にIT人材の採用を行うことで開発体制の拡充を進めてまいりました。IT利活用の多様化・高度化に伴い拡大するIT需要を取り込み、各種Webシステム開発、スマホアプリ開発、クラウドインテグレーション等の案件受注が順調に拡大しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,017,268千円(前年同期比23.0%増)、セグメント利益(営業利益)は374,863千円(前年同期比64.3%増)となりました。

②プラットフォーム事業

プラットフォーム事業においては、「チャットで話せる占いアプリ-ウララ」を主力としたスマートフォン向けアプリの企画開発・運営などに取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は292,295千円(前年同期比1.9%減)、セグメント利益(営業利益)は37,730千円(前年同期比13.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて393,598千円増加し、1,969,473千円となりました。主な要因は、現金及び預金が354,516千円、受取手形及び売掛金が69,537千円増加した一方、のれんが36,387千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて5,493千円増加し、537,864千円となりました。主な要因は、買掛金が31,394千円増加した一方、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が27,528千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて388,104千円増加し、1,431,609千円となりました。主な要因は、東京証券取引所への新規上場に伴う公募増資及びオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株発行等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ103,686千円増加したほか、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が181,455千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年8月11日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	462,773	817,289
受取手形及び売掛金	483,297	552,834
仕掛品	16,023	12,776
その他	52,876	56,939
流動資産合計	1,014,970	1,439,839
固定資産		
有形固定資産	105	1,021
無形固定資産		
のれん	517,971	481,583
その他	4,196	1,639
無形固定資産合計	522,167	483,222
投資その他の資産	38,631	45,390
固定資産合計	560,904	529,634
資産合計	1,575,875	1,969,473
負債の部		
流動負債		
買掛金	201,592	232,987
未払法人税等	71,199	65,117
賞与引当金	14,124	41,952
その他	245,453	197,808
流動負債合計	532,370	537,864
負債合計	532,370	537,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,500	434,186
資本剰余金	377,500	481,186
利益剰余金	333,729	515,185
株主資本合計	1,041,729	1,430,558
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	382	△340
その他の包括利益累計額合計	382	△340
新株予約権	1,391	1,391
純資産合計	1,043,504	1,431,609
負債純資産合計	1,575,875	1,969,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	2,748,627	3,297,064
売上原価	2,193,915	2,514,791
売上総利益	554,711	782,272
販売費及び一般管理費	387,283	510,758
営業利益	167,428	271,513
営業外収益		
受取利息	9	15
為替差益	—	900
補助金収入	1,645	2,643
その他	546	—
営業外収益合計	2,201	3,559
営業外費用		
支払利息	64	1
為替差損	589	—
その他	35	—
営業外費用合計	688	1
経常利益	168,940	275,072
特別損失		
減損損失	1,936	—
特別損失合計	1,936	—
税金等調整前四半期純利益	167,004	275,072
法人税、住民税及び事業税	73,602	99,400
法人税等調整額	△2,510	△5,784
法人税等合計	71,091	93,616
四半期純利益	95,912	181,455
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,912	181,455

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	95,912	181,455
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	160	△723
その他の包括利益合計	160	△723
四半期包括利益	96,072	180,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,072	180,732

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月24日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2021年3月23日を払込期日とする公募増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ65,550千円増加しております。また、2021年4月26日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ33,823千円増加しております。さらに、当第3四半期連結累計期間における新株予約権の行使による新株の発行を含めて、当第3四半期連結会計期間末において資本金が434,186千円、資本剰余金が481,186千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自2020年1月1日 至2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランス フォーメーション 事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,450,543	298,084	2,748,627	-	2,748,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,450	-	3,450	△3,450	-
計	2,453,993	298,084	2,752,077	△3,450	2,748,627
セグメント利益	228,225	33,219	261,445	△94,017	167,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△94,017千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自2021年1月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランス フォーメーション 事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,004,768	292,295	3,297,064	-	3,297,064
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,500	-	12,500	△12,500	-
計	3,017,268	292,295	3,309,564	△12,500	3,297,064
セグメント利益	374,863	37,730	412,593	△141,079	271,513

(注) 1. セグメント利益の調整額△141,079千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。